

のばこども 通信

発行：社会福祉法人 和枝福祉会
のばこども家庭支援センター
横浜市港南区野庭町631
発行責任者：古川 美帆

令和5年4月 第35号

のばこども家庭支援センターは18歳未満の児童に関する相談を受ける児童福祉法第44条の2で規定されている児童家庭支援センターです。

すっかりあたたかくなり、春たけなわを実感する毎日です。ご入園、ご入学、進級された皆さま、おめでとうございます。皆さんは春はお好きですか？一昔前（わたしの・笑）なら春は多くの方に好まれる季節だったように思いますが、近年だと花粉症の方にとって辛そうなイメージも強くなりました。そして仕事柄、環境が変わることで不安な思いをすることも私たちのことが気になる季節でもあります。コロナ禍になって4年目...3年前は卒業式も入学式も行えずでしたね。この先は少し生活スタイルに変化もあるでしょうか。マスクをとった顔がわからないという、以前なら想像できない色々なことが起きています。

こどもたちが心身ともに健康で、ストレスや環境の変化に負けない心が育つよう、そんなお手伝いが少しでもできればと思っております。

開所10年目の春です。今後とも関係機関の皆様のご協力のもと、こどもたちが笑顔で毎日を過ごせるよう、地域の身近な相談窓口として職員一同取り組んでまいり所存です。引き続き感染対策を行い、皆さまが少しでも安心できるように業務を行っていきたくと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

のばこども家庭支援センター長

のばこども地域交流事業

たまごのから工作でペン立てを作りました！

3月11日（土）に親子ふれあい遊び「たまごのからであそぼう」を開催し、7組のご家族にご参加いただきました。

今回は、4月のイースターにちなんだ工作としてペン立てを紙粘土とたまごのカラで飾る企画。お子さんたちの作品は、材料の使い方や仕上がりの形、色合いなど様々で、発想の豊かさを感じました。

工作の後は、職員による絵本の読み聞かせと手遊び、楽器演奏も披露しました。参加者の皆さまも職員の演奏や歌に合わせて一緒に歌ってくださり、ワイワイとにぎやかで楽しいイベントとなりました！



想 感 考 望

のばこども職員のひとりごと...

最近はやっとあたたかくなってきて嬉しいですね。のばこどもでは、みんなでラーメンパーティーをすることがあるのですが、この間久しぶりに肉担当になり、チャーシューを作りました。1年前に肉担当になって以来、自宅でチャーシューを作ることがなかったので、不思議な懐かしさがありました。1時間くらいガスの前に立っていると、1年前の記憶がよみがえってきて、いろんな思い出が溢れ、なんとも感慨深い気持ちになりました。たまには過去を振り返ってみるのもいいなって感じた出来事でした。

のばこども日記

子育て短期で出会った子どもたちへ(*^_^*)

春は進級、進学の時節ですね。センターができて10年目。保育園児だった子も中学生になり、小学生だった子は高校生になり、気が付いたら子どもたちはどんどんと成長していきます。楽しいことも嫌なことも目まぐるしく起こるこども時代。そのなかでも今、自分がやらなくてはいけないことをしっかりと考え向き合い、取り組んでいく子どもの姿は頼もしく思えます。今頑張っていることの結果がすぐ出ないかもしれないけど、今頑張ったことが必ず後の自分のプラスになること、無駄ではないことを伝え、そしてこれからも楽しんで学校生活を送ってほしいと願います。

絵本の紹介



イースターハッピーふっかつの日！

作：ますだ ゆうこ
絵：たちもと みちこ
出版社：文溪堂

皆さんはイースターを知っていますか？イースターとはイエス・キリストの復活を祝うお祭りで、子どもたちの間では庭や室内に隠された色とりどりのイースターエッグを探す“エッグハント”という遊びが大人気ようです。このお話は、うさぎの子どもたちが虹色のイースターエッグを探す物語で、イースターならではのカラフルな色使いがとてもかわいらしく、明るく楽しい気持ちになる一冊です！

のばこども家庭支援センター
☎045-840-5092



◆子ども本人及び子育て家庭の相談・支援◆
月曜日から土曜日まで（祝日、年末年始除く）
受付時間：9時～17時

